

授業科目名	乳児保育 I	担当教員名	森下 真由美
科目区分	教職・保育に関する科目	施行規則に定める 科目区分 等	保育の対象の理解に関する科目
必修・選択/単位数	必修 / 2単位 (30時間)	授業方法/担当形態	講義 / 単独
開講学年/学期	1年 前期 (1-2期) / 年間開講数 1講座	特記事項	※実務経験のある教員等による授業 保育士として長年にわたる実務経験を活かして、具体的な実践記録を紹介して授業を行っている。
授業の概要 及び 全体目標	新生児～二歳児の発育や機能及び、乳児の成長発達の特徴や課題を理解し、未満児保育の目標とねらい及び、保育内容における実践等の知識や技術を習得する。		
到達目標	(1)乳児保育の意義・目的と歴史の変遷及び役割等について理解する。 (2)保育所、乳児院等多様な保育の場における乳児保育の現状と課題 について理解する。 (3)3歳未満児の発育・発達を踏まえた保育の内容と運営体制について理解する。 (4)乳児保育における職員間の連携・協働及び保護者や地域の関係機関との連携について理解する。 ※「乳児保育」とは、3歳未満児を念頭においた保育を示す。		
テキスト	「実践につながる 新しい乳児保育」(ミネルバ書房)		
参考書・ 参考資料等	「平成29年告示 幼稚園教育要領 保育所保育指針 幼保連携型認定こども園教育・保育要領 原本」(株式会社チャイルド本社) 「新訂 見る・考える・創りだす 乳児保育」(萌文書林) 「保育とカリキュラム」		
成績評価の方法	平常点 (受講態度等) 20% 理解度チェック 50% レポート 30%		
授業外 (事前・事後) 学習の方法、オフィスアワー等	事前・事後学習については授業中に指示します。 質問等は毎時間の受講カードによってフィードバックを行う他、授業終了後に研究室で受け付けます。		
授業計画	授業の内容		到達目標番号
第1回	乳児保育の意義・目的と役割 “乳児”“子ども”とは 乳児所保育における養護及び教育の一体性		(1)
第2回	発達の連続性 乳幼児期の発達の特徴及びこの時期の保育で大切にしたいこと		(3)
第3回	0歳児保育前半 生活と遊び 誕生から1歳半まで…歩行の始まり・発語 (DVD参照)		(3)
第4回	0歳児保育後半 生活と遊び 保育者の配慮 人形を使ったオムツ替え、授乳の実際		(3)
第5回	1歳児保育 生活と遊び 保育者の配慮		(3)
第6回	2歳児保育 生活と遊び 保育者の配慮		(3)
第7回	理解度チェック① 乳幼児の基本 個々の育ちを尊重するには		(3)
第8回	保育園の一日 (DVD参照) 移行期への子どものかわり方		(3)
第9回	子どもの病気と健康・安全 資料参照		(3)
第10回	理解度チェック② 乳幼児保育の歴史		(1)
第11回	日本における乳児保育の現状 子ども子育て支援新制度		(2)
第12回	特別な配慮を要する子どもの保育		(3)
第13回	乳幼児保育における計画と記録 保育とカリキュラム参考		(3)
第14回	保護者への子育て支援 保育者が行う子育て支援		(4)
第15回	乳児保育における連携と協働 職員間・対保護者・関係機関との連携・協働 乳児保育まとめレポート		(4)